

実践発表 「子どもの居場所と地域づくり

～津福校区アンビシャス(子ども)広場の取り組みを中心に～

津福校区まちづくり協議会 青少年学習部 宮本 充範

1. 津福校区の紹介

(1) 久留米市の西部に位置

(2) 昭和 53 年津福小学校の新設に伴い、鳥飼・南・荒木・安武・大善寺の 5 つの校区より分離して独立した旧久留米市で最も新しい 27 番目の校区

(3) 世帯数は 5,068 所帯、12,286 人、津福小学校の生徒数は 704 人

2. 津福校区アンビシャス(子ども)広場の取り組み

(1) 沿革

- 平成 14 年 9 月 津福小学校の児童にアンケート実施
アンケートに基づき試験的に広場を開設
- 平成 15 年 1 月 子ども広場設立準備委員会発足
- 平成 15 年 4 月 津福校区子ども広場として委員会方式で開設
- 平成 16 年 7 月 福岡県のアンビシャス広場として認定
- 平成 18 年 4 月 津福校区まちづくり協議会の子ども広場事業部として組み入れ
- 平成 21 年 10 月 現在に至る

(2) 校区まちづくり組織における位置づけ

- 校区まちづくり協議会の 1 事業部

(3) 運営

- 会議：子ども広場事業部会を月 1 回第 1 土曜日の 11 時半から実施
- 活動場所：校区コミュニティセンター、津福小学校体育館・グラウンド、津福公園
- 活動曜日：金・土・日曜日
- 活動内容
 - ・ 11 の継続広場
コーラス、囲碁・将棋、グラウンドゴルフ、料理、ドラム、よさこい、キャッチボール、バスケットボール、皿回し・銭太鼓、和太鼓及び書き方
 - ・ 主なイベント
7 月にお泊まり会、11 月に料理を通じた国際交流、12 月にふれあいクリスマス会、3 月にふれあいコンサートを実施
- 募集要領と広報
 - ・ 月 1 回 津福小学校を通じて全校生徒に配布
 - ・ 校区コミュニティセンターの広報紙に毎月掲載

(4) 平成 20 年度の収支状況

(5) 活動状況の紹介

3. 成果と課題

(1) 子ども同士、子どもと大人、大人同士の絆が深くなった。

(2) 継続広場・イベントを通じ 5～6 年生がリーダーシップを発揮できるようになった。

(3) ボランティアの人数が少なく、負担が大きい。

(4) 広場の数が増えている現状、活動場所に制限を受けている。

参加者数の推移

「地域の教育力を活かした子ども土曜塾」

～ 青少年学校外活動支援事業の取り組み ～

はじめに

1. 久留米市青少年学校外活動支援事業の目的

「子どもの土曜日の居場所や受け皿づくり、学習意欲や学力の向上、さらに生活体験、社会体験等生きる力を育み、併せて地域の教育力の向上に寄与する。」

三潞町では、青少年学校外活動支援事業の一つとして「土曜塾」に取り組んでいる。

2. 三潞町における土曜塾開設の取り組み

三潞町には、三つの小学校（西牟田小学校、犬塚小学校、三潞小学校）

平成17年5月よりまず三潞小学校区で「土曜塾」を立ち上げることに取り組む。

運営委員会組織

- ・三潞小学校区区長代表 ・三潞小学校区地区公民館長代表 ・三潞町青少年育成部会三潞小学校区代表 ・三潞町婦人会三潞小学校区代表 ・三潞町尚寿会（老人会）三潞小学校区代表
- ・民生委員・児童委員協議会三潞小学校区代表・三潞小学校PTA代表 ・三潞小学校校長
- ・久留米市体育指導委員会（三潞地区）代表・久留米市食生活改善推進委員会（三潞地区）代表
- ・三潞文化協会代表 ・三潞町レクリエーション協会代表 ・三潞小学校学童保育所運営委員会代表

平成17年10月より三潞小学校区で「汽車ポッポ元気塾」を開設する。

3. 西牟田小学校区、犬塚小学校区での土曜塾開設の取り組み

「汽車ポッポ元気塾」の事業実施と並行して開設準備を進める。

平成18年4月より二つの校区ともに開設することになる。

4. 役員の選出状況（出身団体等）

「汽車ポッポ元気塾」（平成17年10月～現在）

- ・運営委員長 ⇨ 地区公民館長代表 ⇨ 地区公民館長代表 ⇨ 元地区公民館長代表
- ・事務局長 ⇨ 主任児童委員 ⇨ レクリエーション協会代表
- ・会計 ⇨ 婦人会代表 ⇨ 民生委員・児童委員代表

「西牟田わいわい塾」（平成18年4月～現在）

- ・運営委員長 ⇨ 文化協会会長（区長）（4年目）
- ・事務局長 ⇨ PTA役員 ⇨ PTA役員
- ・会計 ⇨ 体育指導委員代表 ⇨ 元PTA役員

「へらの木楽校」（平成18年4月～現在）

- ・運営委員長 ⇨ 尚寿会役員（4年目）
- ・事務局長 ⇨ PTA役員 ⇨ PTA役員
- ・会計 ⇨ 文化協会代表（4年目）

5. 「汽車ポッポ元気塾」活動の実際

運営委員・・・・・・(資料)

運営委員会開催回数 年間7回~8回

運営委員会規約・・・・・・(資料)

活動場所・・・・・・主に三潁小学校(理科室、家庭科室、図工室、音楽室、体育館、運動場)

事業計画・・・・・・(資料)

小学校児童全員にアンケートをとり、講師の都合等を勘案してコースを決定している。

参加児童は年間を通して希望したコースで活動する。

21年度の事業は

お茶・お花コース 将棋・オセロコース 折り紙・絵手紙・昔遊びコース
スポーツコース(ニュースポーツ、水泳、カヌー、ソフトバレー、バスケットボール)

全コースの合同事業として

ウォークラリー カヌー教室 宿泊元気塾 電車ハイクイ go 柳川
クリスマス会 閉塾式の前にコースごとの発表会

6. 「西牟田わいわい塾」と「へらの木楽校」の活動の実際 (資料 ~ 資料)

活動場所

- ・ 「西牟田わいわい塾」・・・・主に西牟田小学校(図工室、家庭科室、体育館、運動場)
- ・ 「へらの木楽校」・・・・・・犬塚小学校体育館、地区の公民館、町公民館、町体育館、
2000年記念の森公園

事業計画作成

- ・ 活動内容については、運営委員会で各団体に受け持ち回数を割り振り、それぞれの団体が活動内容を提案して一年間の活動内容・期日を調整して決定している。
- ・ 各団体が内容を検討する際は、それぞれの団体がもっているノウハウや人脈をたよりに、基本的には校区内の講師を中心に指導をお願いしている。
- ・ 「西牟田わいわい塾」「へらの木楽校」ともに「汽車ポッポ元気塾」のようにコース別活動の形態はとらずに各活動日ごとにその都度募集チラシを配布して参加者を募集している。